

グローバル通信12月号

外務省地方連携推進室



外務省地方連携推進室
運営ホームページはこちら

グローバル外交ネット
外務省と地方が連携する

飯倉公館活用対外発信事業（宮崎県）の実施



オープニングセレモニー



宮崎牛の試食

地

方連携推進室では、外務大臣と地方自治体首長との共催によるレセプションを飯倉公館で開催し、駐日外交団、駐日商工会議所等に地方の魅力を発信しています。11月8日に、宮崎県とのレセプションが開催され、宮崎県の観光、食品、伝統的工芸品の魅力を紹介する様々なブースを設けるとともに、ステージでは神楽舞のパフォーマンスも行われました。

[詳細](#)

友好のカヌー

～パラオからの贈り物～（三重県）

三重県とパラオが友好提携を締結した平成8（1996）年、パラオ大統領から三重県に、友好の印として伝統的工法で作られたカヌーが贈られました。修繕により往年の姿を取り戻したカヌーが、2年がかりで、古代のルートに沿って、宮崎県から三重県に向けて航海をしました。カヌー側面の三日月模様にちなみ、日本神話の月の神の名前から「ツクヨミプロジェクト」と名付けられたこの航海と、三重県とパラオの友好交流についてご紹介します。

[詳細](#)



古代のルートに沿って瀬戸内海を帆走する「友好のカヌー」



三重県立水産高校で常時展示されているカヌー

外国人から見た地方活性化 Vol.4 ダミアン・ロブション氏 「絹が結ぶ縁～富岡製糸場とフランス」



世界文化遺産・国宝の富岡製糸場



日仏友好の黎明期を物語るセルドン銅工場



富岡市とブルド・ペアーージュ市の友好都市協定締結

明

治初期にフランス人の指導で設立された富岡製糸場がユネスコの世界文化遺産に登録されたことをきっかけに、日本とフランスの様々な交流が行われるようになりました。群馬県富岡市の国際交流員であったダミアン・ロブションさんは、こうした交流活動の企画・準備に関わり、実施をはじめ、翻訳・通訳などでその活動を支援しました。絹が結ぶ富岡市とフランスとの縁を活かしながら、富岡製糸場の価値を伝える中で、ロブションさんの工夫・考えをご紹介します。

[詳細](#)

★ 地方連携推進室から

・外交実務研修員からの寄稿（岩井外交実務研修員）

[詳細](#)

・外交専門誌『外交』Vol.58の発売

[詳細](#)

※記事は [詳細](#) をクリックするとご覧いただけます。

※次回配信は1月6日の予定です。グローバル通信に是非ご登録下さい。登録は[こちら](#)をクリック！
ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jpまでお願いいたします。

ホストタウン給食を通じて相手国・地域をよく知ろう!



ネパール給食を楽しむ中学生
(長野県駒ヶ根市)



ギザド・デ・ポーヨを配膳する生徒
(埼玉県加須市)



セルビア給食
(山口県防府市)

給

食で相手国・地域のことを知ってもらう取組が、2020年東京大会のホストタウンに登録された自治体の小・中学校で広がっています。長野県駒ヶ根市、埼玉県加須市、山口県防府市では、それぞれネパール、コロンビア、セルビアの料理を、工夫を凝らして給食に取り入れています。

詳細

駐日外交団の地方視察ツアー
(鹿児島県)の実施



仙巖園



カンパチ養殖場

ど

「どんどん鹿児島ウエルネスツアー」と題して、11月14日から15日まで、外務省と鹿児島県の共催で、駐日外交団が参加する地方視察ツアーを実施しました。同ツアーにおいて、外交団は、鹿児島県が明治産業革命の舞台の一つであったことを示す歴史関係施設を訪問し、また桜島に代表される自然の特質を生かした産業を視察し、住民が活火山と共生する様子についても理解を深めてもらいました。

詳細

銀

座の街角を急ぎ足で行き交う人々を思わず立ち止まらせるほどに目映くかつ上品な輝きを放つアーティスティックな外観。

こちらがリニューアル1周年を迎えたばかりの茨城県のアンテナショップ、IBARAKI senseです。「茨城の厳選された逸品を世界へ」というコンセプトのもとに、店内には厳選された茨城の良いモノ、「センスある」品々が取り揃えられています。食の宝庫「茨城」の魅力を伝えるべく、店内にはレストランとカフェが備わり、また食のイベントも充実しています。外観随所にあしらわれたゴールド色の県花のバラに出迎えられ、いざ店内に入ってみましょう。

詳細

アンテナショップ紹介
Vol.4

「IBARAKI sense
(イバラキセンス)
(茨城県)」



IBARAKI sense外観



常陸の輝き厚切り上ロースとんかつ

滋賀県・ミシガン州姉妹県州交流50年の
取組(滋賀県・在デトロイト総領事館)

湖

を縁に結ばれた滋賀県とミシガン州の姉妹県州関係は、2018年に50周年を迎えました。この50年の間に人物交流、教育交流、経済交流、湖保全協力等々の多くの分野で、県州の交流関係が構築されてきました。さらに、次の50年に向けて、これまでの交流分野に加え、新たに滋賀県の特産品を通じた経済交流や「湖保全」を共通目的とした水環境交流が進められています。

詳細



滋賀県・ミシガン州両知事による揮毫



ランシング市で実施した
大津市・ランシング市50周年式典



彦根市で実施した
彦根市・アナーバー市50周年式典